2019年度ときめき・サポート制度採用企画

企画名	学校名	学年	人数	概要
鈴6から海洋環境保護のモデルケース確立を目指す～魚ロボットイベントのデータ化を通して～	鈴鹿高等学校（一貫）	５年	10人	これまでの海洋環境問題改善活動を継続するとともに、７月15日（月・祝）に行う鳥羽水族館とのコラボレーションをはじめ、他団体との協働を実現させる。 また、これらの活動をデータ化し、海洋環境保護モデルケースとして社会貢献することを目指す。
MIE MEETING2019 ver.2.0	鈴鹿高等学校（一貫）	５年	20人	SUZUKA MEETING 2017及びMIE MEETING 2018に引き続き、今年も高校生が主催するセミナーを開催する。 今回は、松阪商業高校、相可高校の生徒を講師として迎える。
ハトと人の共存を目指して～ハトにも人にもやさしい学校づくり～	鈴鹿中等教育学校	３年	３人	学校のガラスにぶつかったり、糞害をもたらすハト。ハトの生態を研究して鳥好き者の観点から、人とハトとの共存を考えた問題解決方法を見出す。
三重のクイズ会を盛り上げる！！	鈴鹿中等教育学校	３年 １年	18人	鈴鹿中等教育学校で６年間取り組める新しい文化としてクイズ研究会を本格的に創設する。また、県内他校と協力し、県内クイズ大会を開催するなど組織としてクイズの普及・発展に取組み、三重県にクイズ文化を根付かせる。
ロケットを飛ばす	鈴鹿中等教育学校	２年	10人	昨年に引き続き、チームで協力し、手作りロケットの飛距離を伸ばす考察・実験を行う。